

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成28年8月発行

第136号

発行所

公益社団法人 和歌山県看護協会

〒642-0017

海南市南赤坂17

TEL:073-483-1005

FAX:073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

古川 紀子



イラスト／広報委員 和田聖子

CONTENTS

- 平成28年度事業開始にあたって …… 2
- 日本看護協会長表彰受賞者 …… 2
- 平成28年10月から新しい会員情報管理体制
ナースシップ開始します。 …… 2
- 平成28年度 新理事あいさつ …… 3
- 和歌山県看護協会長表彰 …… 3
- 保健師のコーナー …… 4
- 助産師のコーナー …… 4
- 看護師のコーナー …… 4-5
- 専門・認定看護師のコーナー(トピックス2016) …… 5
- 地域連携のコーナー …… 6
- 私の〇〇 …… 6
- 男の時短料理 …… 6
- 医療安全数珠つなぎ …… 7
- リレーエッセイ 友達の輪 …… 7
- 訪問看護ステーションだより …… 7
- フレッシュナース …… 7
- My School …… 8
- 和歌山県看護協会の動き …… 8
- 平成28年度知事とコメディカル・スタッフ団体
及び病院協会長との懇談会に参加して …… 9
- 新人看護職員オリエンテーションを開催 …… 9
- 平成28年度役員・各委員及び地区支部長名簿 …… 10
- 「看護の日」記念事業を5月7日に開催しました。 …… 11
- 「世界禁煙デーフォーラム2016」に参加して …… 11
- 知って得する看護協会だより …… 12
- プレゼント …… 12

和歌山県看護協会 会員数

平成28年7月26日現在

会員総数	5,593名
名誉会員	1名
保健師	130名
助産師	199名
看護師	5,065名
准看護師	198名

平成 28 年度事業開始にあたって

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子



会員の皆様におかれましては、平素から、和歌山県看護協会の事業推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年度通常総会が 6 月 18 日に行われ、多数のご参加を頂き無事終了いたしました。また、10 名の方が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

平成 28 年度も新たな役員体制のもとで事業が動き始めました。

県民の皆様が、地域でいきいきと安心して生活できる環境づくりが求められており、看護職の役割が拡大し、一層重要となってまいります。「施設」から「在宅」へという地域包括ケアの時代には、これまで以上に身近で頼りになる存在として、質が高く、満足できる看護を「いつでも・どこでも」提供できることが求められています。

今後も、看護の質向上、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を使命として活動して参ります。

「看護実践能力及び専門性の強化」につきましては、昨年の事業に加え、退院支援看護師研修、認知症診療報酬加算Ⅱに対応した研修等を実施し看護の資質向上に努めて参ります。

次に、「看護職が働き続けられる環境づくり」につきましては、昨年 10 月から医療機関等を退職する看護職員のナースセンターへの届出が努力義務化されました。看護管理者の皆様、離職者のナースセンターへの届出の周知をよろしく願いいたします。

ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点としての機能強化を積極的に図って参ります。

今年度は「会員情報管理体制」が本格的に稼働いたします。新体制の移行に向け、円滑に推進できるよう積極的に情報提供をして参ります。

更に、会員の皆様のご意見に耳を傾け、看護職能団体としての役割を果たして参ります。

これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本看護協会会長表彰受賞者

温 忍



日本看護協会会長表彰受賞の機会を頂きました。この荣誉に浴することができましたのは和歌山県看護協会会長様はじめ会員の皆様のご厚情の賜物と深謝いたしております。会員歴 44 年の活動の中、転勤地においても協会活動を通して新しい環境にも早

く適応できました。看護協会が全国組織であることを再認識し力強い支えを得て看護の仕事に邁進することができました。これからも和歌山県看護協会に役立てるように励みます。どうぞご指導よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月から新しい会員情報管理体制ナースシップ開始します。

1 会員証

6 月の日本看護協会通常総会で新会員証のデザインが公表されました。新会員証は、プラスチック製です。新会員証は、6 月末まで入会された方から順次配布させていただきます。新会員証が届くまで、旧会員証(紙製)をお使いください。

なお、新会員証は永年使用となります。

2 平成 29 年度継続入会について

新会員証と一緒に、継続申請書兼口座振替依頼書も随時お送りしますので、継続手続きをお願いします。



平成28年度 新理事あいさつ



副会長として3期目となります。会長を補佐し県看護協会の発展に尽力する所存です。

副会長 **塩路 有理**



地域で活躍できる看護師の質の向上のため委員一丸となって取り組みます。

看護師職能Ⅱ理事 **中野 美枝**



地区支部の皆様と共に看護の質向上と地域貢献に努めます。

那賀地区支部 **大久保まさ子**



地域の保健・医療・福祉に貢献できるように頑張っています。

有田地区支部 **西原 均**



地区支部の皆様との協力のもと役割が果せるよう努めてまいります。

田辺地区理事 **山根八栄子**



支部会員の皆様と共に、地域に貢献できるよう努めてまいります。

日高地区理事 **空山 直子**



地区支部の皆様と共に、地域貢献に繋がる活動になるよう尽力します。

伊都地区理事 **西山登志子**



みなさまに御指導いただきながら、精一杯頑張ります。

准看護師理事 **玉置 佳代**



適正な協会運営を見守り、発展・充実が遂げられるように尽力します。

監事 **温 忍**

和歌山県看護協会会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



① 真摯な態度

② 今、何が最善であるか判断し、行動する
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 **糴谷 博子**

① 理論なき実践は盲目、実践なき理論は空虚

② あなたの頑張りは、必ず誰かがみている
和歌山県立医科大学附属病院 **中山美代子**

① 一所懸命！

② Chance, Challenge, Change!!
和歌山赤十字看護専門学校 **高岸 壽美**

① 不器用でも、創意工夫で真摯に向かう。

② 支えられ、頑張ったからこそ今が「魅看」
和歌山県立高等看護学院 **中澤 則子**

① 常に一生懸命。初心を忘れずに。

② 人のご縁を大切に。看護は出会いから始まる。
貴志川リハビリテーション病院 **大久保まさ子**

① 感謝の心と謙虚な心を忘れずに

② 優しい手と目と心で、患者・家族に寄り添う看護を大切に
海南医療センター 看護部 **津本 美鈴**

① 『敵は自分の中にある』なんてね。

② この世の大抵のことは乗り越えられるからね！
橋本保健所 **柏木美由紀**

① 笑顔を忘れず、元気で明るく！

② 感謝の気持ちと思いやりの心を忘れずに！
新宮市立医療センター **杉山 文栄**

① その日を大切に後悔しない1日に

② 「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れないで
国保ささみ病院 **宮崎 眞理**

① いつも笑顔で挨拶をする。

② あなたの笑顔を待っている人がいます。
有田市立病院 **古川 さゆ**

保健師のコーナー

保健師職能委員 瓜田 真理子



看護職として思うこと

串本町役場福祉課 所属で現在は串本町保健センターで勤務しています。

串本町は本州最南端に位置し、温暖な気候と温かい人が住むすごしやすい町です。また、1890年にトルコのエル

トゥールル号の海難事故が串本町で起こり、その際、檜野地区の住民は全身全霊で被災者の救助にあたったという歴史があります。それから友好関係にあるトルコと日本との合作映画「海難 1890」が昨年12月に完成しました。今回、この映画を通して全国の方々に串本町の歴史を知っていただく機会となったと思います。素晴らしい映画ですので、もしまだ観ていない方がいればぜひ観てください。

私は昨年度から保健師職能委員をさせて頂いています。業務の都合で会議や研修会など毎回の出席は出来ていませんが、参加するたびに他市町村の保健師と意見交換が出来、最新の情報も頂けるのでとても勉強になります。昨年度は3職種の合同研修会があり、研修の後、保健師だけでなく看護師、助産師の職種の方々と交流が出来ました。その時に地域と医療機関との連携の必要性を強く感じました。勤務する場所だけでなく、視野を広げお互いに意識して声をかけあい、その地域で生活する住民への適切な支援につなげることが看護職の役割であると思います。社会情勢の変化に伴い支援をするうえで様々な困難が訪れる時代だからこそ力をあわせて活動することが重要と考えます。これからも、串本町の先人たちが何の見返りももたせずに人命救助にあたったその気持ち「真さ」を受け継いでいき人の人生に関わっていきたいと思っています。

助産師のコーナー

助産師職能委員 小谷 悦子



前任の職能委員から「これから助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度が始まるので大変ですよ！」と言われ、不安もありましたが、他施設の助産師さんとの交流が深まり、刺激を頂き、充実した楽しい

2年間の委員会活動でした。この制度の目的“継続的に自己啓発を行い、専門能力を高めることにより、妊産褥婦・新生児に対し、安全で安心な助産ケアを提供できること、そして社会や組織が助産実践能力を客観視できること”を皆様に理解して頂き、一人でも多くのレベルⅢ認証を受けた「アドバンス助産師」が誕生することを願い、取り組んできました。昨年度末、県

内の77名が自律して助産ケアを提供できる「アドバンス助産師」と認証され、嬉しいことに和歌山県は、就業助産師に対する割合が全国第8位でした。その後、NHK和歌山放送局の番組で、県内施設の助産外来や院内助産に於いて、母児や家族に寄り添いながら活躍するアドバンス助産師達の姿が紹介されました。アドバンス助産師の活躍が社会から期待されています。今後も助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）CLoCMipレベルⅢ認証制度の普及活動、申請と5年毎更新への支援を行い、アドバンス助産師をさらに盛り上げていきたいと思っています。また、助産実践能力強化に向けて研修会の開催、地域母子保健活動の推進等に取り組んでいく予定にしています。今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅰ 和田 記代子



看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）の活動に参加させて頂き2年になります。

2025年に向け、変革の時を迎えている医療提供体制をふまえ、日本看護協会看護師職能委員会Ⅰでは在宅療養支援や看護師のキャリアなど、

病院領域の看護職がこの変化に対応するための取り組みが行われています。また、国民・社会に安心して安全な医療を提供するためには、これを支える看護職の働きやすい環境を整えていくことが必要とされています。

委員会では、黒潮の中の看護協会だより「あなたのためにできること、あなたにできること」として昨年から『夜勤・交代制勤務』『各施設で働きやすい職場の取り組み』を紹介しています。また、看護師職能集会・三職種合同研修会、准看護師研修会、男性看護師交流会など、一人でも多くの方が興味をもち参加できる研修を企画運営しています。

看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）と協働しながら看護師がやりがいを持ちながら働き続けられることができるように、委員会メンバーと協力しながら頑張っていきたいと思っています。



看護師職能委員会Ⅱが創設され5年目となりました。看護師職能委員会Ⅱは、介護・福祉関係施設・在宅等領域における看護職を対象に、その機能強化を目指しています。

超高齢多死社会の到来を迎え、訪問看護・高齢者ケア施設における看護の提供体制の整備と質の向上は喫緊の課題となっています。これまでの4年間は、看取りや認知症など様々なテーマで、高齢者施設（特別養護老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など）に赴いて出前研修

を実施したり、施設での看取りに関する意識調査、健康に関する市民向け講座などを行ってきました。

今年度は、在宅や施設での質の高い看護サービスの提供の実現にむけて、紀北・紀中・紀南の3か所で高齢者のフィジカルアセスメントに関する研修、看取りに関するパンフレットの作成、高齢者ケア施設の看護管理者交流会、在宅医療に関する市民向け講座を実施する予定としております。

医療ニーズの高い高齢者であっても、認知症の方であっても、暮らしの場で支え、穏やかな看取りを支援する役割を看護職が発揮できることを目指し、活動していきたいと思っています。

専門・認定看護師のコーナー トピックス 2016

「透析看護認定看護師の役割」

日本赤十字社和歌山医療センター 透析看護認定看護師 今城 博枝



認定看護師は、現在 21 分野が特定されており、透析看護分野は 2003 年、12 番目に特定されました。2016 年 6 月現在、全国で 207 名の透析看護認定看護師が活動しています。

現在、約 1,330 万人が CKD（慢性腎臓病）患者と言われており、慢性透析患者は 2014 年末には、320,448 人となりました。血液透析療法において、透析患者の高齢化、導入患者の高齢化、また、合併症を持つ透析患者も増加しており、治療だけでなく、安定した療養生活を送るための生活調整や、家族支援も透析看護認定看護師の重要な役割と言えます。

私は、透析患者とその家族が、安定した透析療養生活を送るために何が必要か、自らが見出せるよう支援するためには、患者と家族がどのように折り合いをつけて透析生活に適応してきたのか、

その体験を理解することが重要ではないかと思い、患者や家族との関わりを大切にすることを心がけています。患者とその家族の体験を聴くことは、具体的な看護援助の方法を検討するのに役立つだけでなく、私自身が看護について振り返る機会となっているようにも思います。

私は、2015 年に透析看護認定看護師の認定を受け、活動 2 年目を迎えます。認定看護師としての役割を果たしているのだろうか？と悩むこともありますが、患者さんやご家族から頂く感謝の言葉は、私の大きな支えとなっています。透析看護認定看護師として、まだまだ力不足ではありますが、看護師だけでなく、医師、臨床工学技士、管理栄養士など多くの仲間と共に透析患者さんがその人らしい生活を送れるよう支援して行きたいと思えます。

地域連携のコーナー

富田病院地域連携室の活動と 取組について

医療法人富田会 富田病院 看護部長 **丸山 昌子**
地域連携室 **喜多 清美**



富田病院は岩出市にある一般病床 37 床・地域包括ケア病床 10 床・医療療養病床 54 床・介護療養病床 55 床、合計 156 床の内科病院です。関連施設は、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・デイケア・デイサービス・小規模多機能居宅介護事業所・有料老人ホームがあります。

地域連携室は平成 26 年 12 月に開設され、最初は看護師・私 1 名でのスタートでしたが、現在は事務員と 2 名で担当しています。

地域連携室の業務内容は、①入院の受入れ・調整②医療・介護・福祉についての相談③退院支援④当院入院中の方の転院の手配などです。

これらの業務を日々行う中で感じるの、地域連携室は病院と病院、診療所と病院、地域と病院をつなぐ連携の窓口であるということです。

私は地域連携室に配属される前はケアマネジャー（以下ケアマネ）をしていましたので、地域のケアマネや施設職

員には顔なじみの方が多くいます。その利点を生かして、病院とケアマネ等がお互い顔の見える関係で情報交換できるように橋渡ししています。

例えば、患者の入院後には早期に担当ケアマネと連絡を取り、入院前の生活状況や介護サービスの利用状況を把握し、その情報を病棟やリハビリスタッフに伝え退院支援に活かします。病院側からは、入院中の病状や ADL の変化・退院の見通しの連絡や、退院時カンファレンスを開催することで、患者・家族のニーズに合ったケアプラン作成に役立つ情報を提供します。このようにお互いに必要な情報交換ができるように連携の中継地点としての役割を果たしたいと考えます。

当院の地域連携室は開設して 1 年半で経験も浅く、今後取り組まなければいけない課題も多くありますが、富田病院に来院される患者や家族の皆様、地域のケアマネジャーやサービス事業所の方々に、気軽に寄って声をかけていただける「病院の窓口」を目指して頑張っていきたいと思ひます。

私の



《私のモットー》

医療法人たちばな会 西岡病院 **福田 貴子**



私の職場でのモットーは笑顔を絶やさないことです。ムスッと仏頂面をしているよりも印象が良いものもありますが、一番は安心感があるからです。

多くの患者さんは突然の入院で動揺や不安を抱えています。又、ご家族の方も同様だと思ひます。聞きたいことも色々ある中で、最初に関わっていくのが私たち看護師です。少しでも不安を和らげ、話しかけやすい雰囲気できるように笑顔をモットーにしています。

しかし、業務に追われたりすると焦るあまり心に余裕がなくなり、態度や表情に出てしまうこともあります。笑顔を絶やさないことは、簡単なことのように思えますが実は難しいことだと私は思ひます。

まだまだ至らないところも多いですが、これからも「モットー」を大切に患者さんやご家族の方を支えていければと思っています。

男の時短料理

橋本市民病院 **南本 憲佑**

材料

- ・魚：切り身
(鱈や鯛など好きな魚。1匹そのままでも OK)
- ・あさり：100～150g
- ・にんにく：1片 みじん切り
- ・ミニトマト：数個
- ・野菜：家にあるものなんでも可
- ・塩コショウ
- ・オリーブオイル or サラダ油
- ・水：50cc程度
- ・酒 or 白ワイン：50cc程度

第3回

アクアパッツア

- ・ドライパセリ
(あれば OK)

作り方

- ①フライパンでオリーブオイルとにんにくを熱します。
- ②魚を皮目から入れ、焼き色がついたら裏返します。
- ③トマト・あさり・野菜を入れた後、水・酒を投入します。
- ④蓋をして 10 分程度煮ます。
- ⑤お好みで塩コショウで味付け・パセリをふりかけて完成です。



医療安全

数珠つなぎ

公立那賀病院

医療安全管理者 顧問 曾和 とも子



医療安全管理者としての活動は、年に2回全職員研修企画、毎月の医療安全ランチョン研修開催、毎週の医療安全カンファレンス開催、ICTとの合同ラウンド、安全パトロール、インシデント・アクシデントに関する活動等です。特にインシデント報告は、『安全な組織づくりの実践

面の中核』といわれています。職員が、『安全に対する感度をアップ』、まずは、積極的にインシデント報告から目標に日々頑張っている今日この頃です。

次回号に紹介させていただく方は
富田病院 丸山 昌子様です

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.54

大阪府立大学大学院 看護学研究科
小児看護学 CNS コース

狗巻 見和

和歌山県看護協会会員



私は小児看護学 CNS コースに在学しています。CNS コースで学んでいる同級生は在宅看護学や家族看護学、がん看護学など10分野あります。同級生の年齢や今までの経歴、専門分野はさまざまですが、同じ目標をもっている仲間たちと熱く語り合い、励まし合うという貴重な時間を過ごしています。残り1年、病院実習と看護研究に取り組み、仲間と一緒に修了を迎えたいです。ここでの多くの学びを今後の看護に活かしていきたいです。

今回は、有田市立病院東4階病棟の
竹中 紗恵 さんをご紹介します。

訪問看護ステーションだより

スマヤ訪問看護ステーション 船井 佐知子

スマヤ訪問看護ステーションは、居宅介護支援や訪問介護、訪問リハビリテーションも行える事業所です。そのため、多職種がそれぞれの機能を発揮しながら、タイムリーで密な連携をはかっています。進行性の神経難病やがん末期にある利用者の意思決定、老々介護や独居高齢者の生活の安全性確保等々、望ましい看護の答えはなかなか見つからないことも多く、真剣に悩む毎日です。しかし、近ごろは看護スタッフ一人ひとりが看護について考えをしっかりと述べる機会が必然的に多くなりました。討議する時間が各々の意欲を引き出すきっかけにつながります。在宅看護に関する知識や技術向上がはかれる学習の機会を増やしたり、看護学生の実習では各学生の学びが深まるようスタッフ全員でサポートのあり方を考えたりしようとする意識も高まってきました。訪問看護をはじめたいと考えている人達に、「スマヤ」で働いてみたいと思ってもらえるような職場づくりを目指します。



★★★フレッシュナース★★★



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

森口 知美

国家試験の合格通知を受け、看護師になれたという喜びもつかの間、働き始めて自分の考えの甘さや責任の重さを痛感しています。未熟な私を笑顔で迎えてくださる患者さん、あたたかくご指導して下さる先輩看護師さんのおかげで、少しずつ成長することが出来ていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

私を支えてくださっている多くの方々に少しでもこの気持ちを返していけるように、専門的な知識と高い技術を1日でも早く身につけたいと思います。

そして、なにより患者さんに寄り添える看護師を目指し、必要とされる立派な看護師になりたいと思います。まずはこの1年、誰にも負けない笑顔で、一步一步確実に看護力を身につけていきたいと思っています。



「看護師になって」

国立病院機構和歌山病院 4階南病棟

山本 蘭馬

私は、今年の5月に和歌山病院へと異動してきました。前の病院では手術室に勤務しており、病棟勤務は今回が初めてです。当然ながら、同じ看護でも手術室で学んでいた看護とは全くと言っていい程違い、病棟という環境に慣れる事から大変で、中々『看護』という専門職業人としての力は身に付いていないのが事実です。しかし、毎日が新しい事の経験と学びであり、先輩看護師さん達も分からない事は丁寧に教えて下さるので、とても勉強になります。病棟での知識や技術を身に付けていくと同時に、先輩達から学ぶべき所をしっかりと学んで、『理想の看護師』へと成長できるように努力していきたいと思っています。



和歌山県立なぎ看護学校は、紀伊半島の東側に位置し三重県との県境、新宮市にある学校です。「世界遺産」に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」で知られる「熊野古道」「熊野速玉大社」「那智の滝」が近くにあります。新宮市・東牟婁医療圏に住む地域住民の健康の担い手として、保健・医療・福祉施設において活躍できる質の高い看護師を育成することを目的に、平成7年4月に開校し、今年、第22期生を迎えました。

本校は、生命の尊厳を基盤として、人間を幅広く理解し、看護専門職としてふさわしい優しさと思いやり、使命感と責任感を持った学生の育成、また、生涯にわたって成長し続けていく姿勢を培い、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護の実践者を

目指すことを教育理念としています。

定員は1学年40名で、総定員は120名です。最近では男子学生や社会人の入学生も多くなり、幅広い年齢層の男女が在籍しています。講義や実習においては、地域的な特性から、新宮市・東牟婁地域を中心に三重県南部地域の保健・医療・福祉施設・教育機関から多くの協力をいただき、「なぎの学生さん」と声をかけてもらいながら、地域全体で育てていただいているという実感があります。

なぎの葉は切れにくいといういわれがあるように、同じ学校で学ぶ「縁」を大切にしながら、海、山、川そろった温暖なこの新宮市で、地域の方々の期待に応えられるよう、笑顔いっぱい、学生・教員ともに日々研鑽を重ねながら取り組んでいます。

在校生の **声**

私たちが学んでいる和歌山県立なぎ看護学校は、近くに海や山があつたりと自然豊かな地方にあります。近隣の地域だけでなく、他県からも学生が来ており、日々看護師になる為の勉強に励んでいます。学校の前には病院が建っており、常に自分たちが目指すべき場所を意識しながら学習をすることが出来ます。また、実習施設でもある地域の病院から先生方や看護師の方が外来講師として来てくれて、看護師として必要な知識以外にも地域特有のことも教えてくれたりと、僕たちが目指す地域に根付いた看護について学ぶことが出来ています。

学校の特徴としては、学生同士の交流が盛んに行われています。4月には全学年でのチーム対抗の学年交流会というイベントがあって、様々な競技を通して先輩や後輩とコミュニケーションを取ることが出来る場となっています。今は10月にある学校



祭に向けて皆で協力して話し合いをしています。

今、私は2年生ですが、授業としてグループワークなどを通してチームワークの大切さを学んでおり、目指す看護師像に少しでも近づくことが出来るよう、充実した日々を過ごしています。

2学年 奥峪 崇之

和歌山県看護協会の動き

平成28年度第三回理事会

開催日時：平成28年6月22日（水）13:00～16:30
場 所：看護研修センター 会議室1

1. 協議事項

- 1) 会長・役員を選任について
- 2) 常任・特別委員会について
- 3) 常任・特別委員会の諮問事項について
- 4) 円滑な事業運営（理事会等の年間計画について）
- 5) 和歌山県ナース章について
- 6) その他

2. 報告事項

- 1) 日本看護協会理事会報告
- 2) 県内関連団体会議参加報告
- 3) 会員数について
- 4) その他

以上 承認

平成28年度知事とコメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会に参加して

専務理事 小泉 美穂

平成28年7月11日19時からホテルアバローム紀の国で開催された。今年度就任された上野雄二病院協会長の司会のもと、8職種のコメディカルから主な事業、県行政への参画、最近の話題について報告をした。看護協会からは、平成30年に県内で2校目の看護大学が開設されることになり、看護協会は、大変期待している旨を伝えた。

10月17日・18日に近畿地区法人会員連絡会が開催されること、日本看護協会が推進している「看護師教育を4年に」について現状を伝えた。知事からも、その理由をはじめ多くの質問を頂いた。古川会長が現状の学校教育だけでは、臨床現場との乖離があり、それに耐えられず離職につながっている。このため、ゆとりを持ち技術演習を行い、卒業後スムーズに職場に適應していくためであると説明した。

他職種からも、今は専門学校より大学卒、それも4年から6年と教育に時間をかける傾向であると追加発言があった。その他、各コメディカルは県行政への質問、協力依頼など活発な意見交換があり21時過ぎに会議を終えた。



新人看護職員オリエンテーションを開催 参加者220名

常任理事 山本 喜久子

平成28年7月2日(土)午後、開催しました。

DVD「ようこそ日本看護協会へ、ようこそ和歌山県看護協会へ」でアピールしました。

そのあと、ちょっと先輩(小角 健太様 貴志川リハビリテーション病院、吉田 結様 白浜はまゆう病院)また、キャリアを積んだ先輩(中野 美幸様 和歌山県立医科大学附属病院)から「いきいきと働き続けるために」と題して体験談をお話いただきました。

参加者からは、「看護協会について理解できるよい機会でした」「先輩たちの意見を聞いてやりたいことをみつけなくては」「違う病院でも同じように悩みな

がら頑張っている看護師がたくさんいることが励みになった」などの感想がありました。



東洋羽毛の **無料!!**
コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます



0120-88-2104



片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

東洋羽毛関西販売株式会社

お気軽に御利用ください。

平成28年度 役員・各委員及び地区支部長名簿

★印は委員長

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	
役員		看護師職能委員Ⅱ		特別委員		
会長	古川 紀子		山下 陽子	「まちの保健室」運営委員	★佐藤 美江	
副会長	東 直子		東 るみ子		岸田 研一	
副会長	塩 路有 理		丸岡 朋子		野上 千晶	
専務理事	小泉 美穂		佐藤 房子		橋爪 千晶	
常任理事	山本 喜久子		井上 加恵		後藤 智子	
理事 書記長	山本 美代	常任委員			ナースセンター推進委員	★上田 陽子
保健師職能委員長	櫻根 桂子	社会経済福祉委員	★和田 裕子		高垣 通代	
助産師職能委員長	坂本 裕美子		土井 志保		竹内 良子	
看護師職能委員長Ⅰ	澤田 康幸		塩路 陽子		坂口 スマ子	
看護師職能委員長Ⅱ	中野 美枝		村上 きみよ		櫻根 桂子	
伊都地区支部長	西山 登志子	教育委員	★赤松 信也	認定看護管理者	★芝瀧 ひろみ	
那賀地区支部長	大久保 まさ子		津田 由佳	教育運営委員	坂本 由希子	
和歌山地区支部長	松尾 文美		岡本 真紀		岡本 恭子	
海南・海草郡地区支部長	清水 多津子		竹内 つやこ		高岸 壽美	
有田地区支部長	西原 均		大浦 泰代		西原 均	
日高地区支部長	空山 直子		須崎 智之		稲垣 伊津穂	
田辺地区支部長	山根 八栄子		井上 明美	その他委員		
新宮・串本地区支部長	佃 瑞穂		井口 寿美	ワーク・ライフ・バランス	★池田 亜矢子	
准看護師理事	玉置 佳代		東本 桂	推進委員	亀田 登代美	
監事	澤越 純子		上平 絹代		辻 あさみ	
//	温 忍		日下部 聖美		小松 仁美	
職能委員			松岡 淑子		西山 登志子	
保健師職能委員	★櫻根 桂子	広報委員	森口 由佳理		佐野 恵子	
	黒田 恵美		★仲谷 早苗		小田 江理子	
	松下 津也子		宮本 美紀		東 直子	
	井内 祥子		林 清高		浪 政美	
	瓜田 真理子		濱 端 俊 旭		中西 広子	
	丹下 百花		和田 聖子	認定看護管理者会	★黒田 美也子	
	井本 知江	医療安全対策委員	★伊都 香		角谷 知恵美	
	玉置 倫子		田中 由佳子		松尾 文美	
助産師職能委員	★坂本 裕美子		大谷 千佳子		高岸 壽美	
	堰本 利絵		谷川 聖子	推薦委員	★山本 昌代	
	吉村 友美		古川 さゆ		辻村 由佳子	
	宮本 真由美		久保 恵美		植田 啓子	
	大東 千晃	災害看護対策委員	★星田 龍也		神戸 祥子	
	鳥羽 紀美子		北山 加津子		和平 幸代子	
看護師職能委員Ⅰ	★澤田 康幸		山田 恵美子		新界 紀子	
	和田 記代子		鈴木 孝子	選挙管理委員	橋本 照代子	
	舩野 真樹		茨 精子		植田 啓子	
	中村 亜由美	看護研究会委員	★武用 百子		魚立 光男	
	土山 美恵子		内芝 秀樹		榎村 章代	
	榎木谷 久美子		久保 乃英		植田 啓子	
	米谷 江里		曲師 昌子		魚立 光男	
	山本 初太郎		城 真美		榎村 千枝	
看護師職能委員Ⅱ	★中野 美枝		一 色 啓			
	角 敬子					
	戸石 未央					

「看護の日」記念事業を5月7日に開催しました。

講演会

ナースセンター担当 中川 京子

和歌山県で地域医療にご尽力されている安川診療所 安川 修先生に「尊厳を守る在宅医療について」と題してご講演いただきました。



～家で大切な人を看取る文化は日本では1950年頃は一般的であったが、徐々に減少し、現在は医療機関で看取ることが一般的になっている。看取る文化を取り戻すには制度だけではなく当事者・家族・医療介護の方の中で「納得」のよりどころが必要である～という篤いメッセージに参加者一同が感銘を受けました。

参加された方より

- ・言葉にならないくらいいいお話しでした。訪問看護これからも頑張ろうとおもいました。若い人たちが大勢先生の話聞いてくれていたのでよかった。
- ・私の祖父が安川先生に最期在宅でみてもらってました。今回、将来について考えられる機会となりました。安川先生が最期まで祖父の手を離さずにいてくださったように私もそんな看護師になれるようがんばります。

DVD 視聴

県内の看護師等養成所、保健看護学部のある大学の紹介のDVD「看護職を目指す方へ」の視聴が行われました。



白衣体験です！



「看護の日」記念事業 参加者	
参加項目	人数
講演会	112
まちの保健室	50
DVD 視聴「看護職を目指す方へ」	43
白衣体験	45



「世界禁煙デーフォーラム2016」に参加して

社会経済福祉委員 塩路 陽子

今回5月28日に「健康社会のための教育」をテーマにした和歌山工業高校で開催されたフォーラムに参加した。日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器内科副部長池上達義先生の基調講演があった。

喫煙に関連する疾患として肺がん、COPD（慢性閉塞性肺疾患）などがあげられる。COPDの死亡率は平成17年より和歌山県が第1～2位である。喫煙することで死亡率が高くなる。COPDの認知度は25%と低いため、多くの方に知ってもらい喫煙するリスクについて具体的に考えられるように教育をしていく必要がある。また禁煙外来では、繰り返し指導し、継続的にサポートしていく必要性を学んだ。再喫煙を防ぐには生活全般を考えた指導が大切であり他職種、地域との連携が必要である。研修内容から、近年喫煙防止への取り組みが活発となっている事を改めて感じる事ができた。

また、22歳までに喫煙しなければ、一生喫煙しな

い確率が高い。小学校から禁煙教育への取り組みとして、学校での喫煙防止教育がどのように行われているのか知ることができた。子どもたちに防煙だけを教育するのではなく、家族や周りの人の禁煙を応援できるよう喫煙のリスクや禁煙方法が分かりやすく説明されていた。

池上先生の講演の中で「禁煙指導は、種まきである。花が咲くかは分からないが、種をまき続ける事が大切」と教えて頂いた。その言葉がとても印象に残った。早期発見、早期治療と検診を勧めることも大切であるが、真の健康社会とは、禁煙をすすめる、喫煙がなくなることである。社会から喫煙がなくなる日まで、どれだけの時間がかかるか分からないが、1人1人が喫煙について考え行動に移せるよう、社会全体で取り組んでいかなければいけない。そのため、私たち医療従事者が喫煙リスクを理解し、禁煙への取り組みを積極的に行っていくべきである。

知って得する看護協会だより



第16号

●発行責任者／看護師職能委員長 I 澤田 康幸 ●編集／看護師職能委員会

あなたのために、できること あなたに、できること

紀和病院 働き続けられる職場を目指して

副看護部長 池田 亜矢子

紀和病院では、開院当初から人員確保の為に労働条件の整備や、離職予防の為に支援策はかなり充実してまいりました。2011年に看護協会 WLB 事業に参加しインデックス調査で明らかになった事は、周知にばらつきがあり、明文化されていない制度が有ること。また、職員を大事にする風土と、いつでも話し合える環境であると感じているスタッフも多い事がわかりました。調査の結果・分析により管理職、スタッフ、他部門と共通認識を持つことができ、制度の周知や新たに業務内容の整理・勤務環境の調整をするよい機会となりました。見直した制度、新たに設立した制度には

- *夜勤手当の増額 *食事手当の選択 *院内託児所の環境整備とメンテナンス
- *専任職配置・病棟薬剤師の配置・病棟クラークの看護部配属・業者へ業務委譲
- *師長の基本給と手当の見直し *教育支援制度の確立
- *新オムツ導入により患者様の安眠、時間外労働の削減、腰痛対策に良い効果をあげました。

教育担当部長 辻本 さち子

当院の新人看護師の教育体制は「チームサポート制」を取り入れています。部署に「リーダー」が1名、主に技術を教える「メンター」と心の支えになってくれる「エルダー」が数名ずついます。そのため、仕事に来ればサポートチームのどれかは勤務しています。又チームの中に苦手な先輩がいても、他の先輩に相談できる事が大きなメリットです。また1人の先輩だけでなく、いろいろな先輩の人間性や看護観に触れることは、紀和病院が目指す看護師像に近づける一歩ではないかと考えています。この新人指導を通して、先輩看護師も“チームワーク”を養っています。この制度を取り入れ、新人看護師からは概ね良い評価をもらっています。また、産休・育休中の看護師には教育委員会が発行しているお便りを郵送しています。これは、同僚や後輩の写真が載っているので、少しでも仕事から取り残された感が和らいで、安心して職場復帰出来ればとの思いで始めています。

これからも、常に働き続けられる職場を目指し歩んでまいりたいと思っております。



教育委員会だより

夏期休館のお知らせ

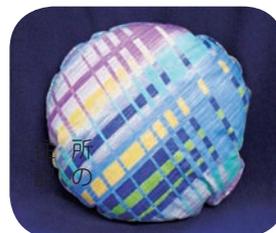
平成 28 年 8 月 13 日(土)～平成 28 年 8 月 16 日(火)

第24回 プレゼント!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明上、9月26日(月)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒642-0017 海南市南赤坂 17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係



「足まくら」を
2名様に!

どちらか1つ
当たります!

「図書券」
1,000円分を
3名様に!

プレゼント 応募者の 声

- 夜勤の現状や日勤での勤務状況が、他の病院はどんなのか知りたいです
- 各職能の活躍も知ることが出来ますので黒潮を読んで和歌山県の看護職の動向がよくわかり、助かります
- 「男の時短料理」おもしろく拝見しています